

山口情報芸術センター(YCAM) presents

特別総合企画展／シリーズ「科学とアートの対話」

「時 間 旅 行」 展

開催期間：

2005 年 3 月 19 日(土)～ 6 月 19 日(日)

※毎週火曜および 5 月 6 日休館、ただし 5 月 3 日は開館

10:00～20:00 入場無料

開催場所：

山口情報芸術センター ホワイエ～スタジオ B～2F ギャラリー～1F カフェ、中庭その他

主催：財団法人山口市文化振興財団

共催：山口大学時間学研究所 企画協力：日本科学未来館

後援：山口市、山口市教育委員会 製作協力：YCAM InterLab 企画制作：山口情報芸術センター

「時間旅行」展：さまざまな時間を発見し、体験する旅 ～文化としての科学、科学の表現としてのアート～

■テーマは、人間にとってさまざまな「時間」を「発見」し、「旅」すること。

このコンセプトによって、新しい世界＝時間のさまざまを発見する楽しさを表現します。人間が普段計測する標準的な時間の意識を離れ、宇宙・生物・生命・物質・精神などのミクロ～マクロな科学の世界、また文学・芸術・哲学・歴史などの文化表象の世界の中に、さまざまな形で存在する「時間」の多層さへと理解を広げます。「時間」が人間を生み出したのか？ 人間が「時間」を創造したのか？ 時間をめぐる迷宮を多方向からたどり、新しい時間の世界を探求・体験すること。それは人間の未来のライフスタイルやイマジネーションを深めていくための大きなヒントになるに違いありません。

■体験方法

文化としての科学というアプローチによって、人類にとって根源的なテーマである「時間」をさまざまな視点でとらえ、新規性のある切り口を提示します。同時に「時間」の科学をめぐり、「科学の表現としてのアート」を感覚・体験するために、独自にデザインされた斬新なアウトプット(展示作品)を、YCAM

のほぼ全館を使って実現します。展示作品では、多彩な映像や空間デザイン、インターフェイス、デバイスなどのプレゼンテーションによって、科学とアートの視点が交錯する「時間の総合体験旅行」が表現されています。知的アトラクションとしても、誰にでもわかりやすく楽しめる企画です。

本企画のポイント

■コラボレーションによる企画 ～ 山口(YCAM)展独自の展開

今回の山口展において、＜YCAM＞＜日本科学未来館＞＜山口大学時間学研究所＞＜地元地域ボランティア＞の4者間の積極的な連携コラボレーションによって事業を展開していきます。

「時間旅行」展(日本科学未来館/主催、山口大学時間学研究所/企画協力)は、2003 年 3 月～6 月に日本科学未来館(東京・お台場)で開催されたもので、科学者とアーティスト、デザイナーがコラボレーションで参加するという、科学をテーマにした展覧会としては初の、画期的試みとして高い評価を受けました。その後中国～メキシコの展示をへて、今回の山口(YCAM)展は、日本で初めての大規模な巡回となります。山口展では、巡回展示という形だけではなく、展示方法、ナビゲーションコンセプトなどを山口展独自に再編集し、より発展させたコンテンツとしてのバージョンアップを行っています。さらに山口展ならではの、多くの新作展示の追加や、オリジナルイベント企画(対談、レクチャー、シンポジウム、ワークショップ、コンサート、映画上映)などを、地元ボランティアの協力を得て、3ヶ月間にわたり展開する予定です。今回展示するコンテンツは24点にのぼり、そのうち6つが山口展のオリジナル作品です。

■ターゲット

表現の体験・体感性を重視し、子どもからお年寄りまでは幅広い層に、楽しみながら理解を深めてもらえるような展示を行います。関西以西での初の長期間で大規模な総合展示になるため、地元近隣地域だけでなく、関西圏～九州圏など広いエリアからの集客も見込まれます。

■展示およびイベント

YCAM 館内をほぼフルに使っての大規模な展示・イベントとなります。ホワイエをスタート地点にして、館内をナビゲーションしながら、さまざまな時間の世界を、各エリアやブースで体験旅行していく仕組みになります。入場無料なので、来場者は何度でも入場して「時間旅行」を楽しんでいただけます。会期中は、展示に並行して、山口大学時間学研究所の協力により、それぞれの分野の専門家の「時間」に関するレクチャーおよびガイドツアーなど、専門的な研究から入門的なガイダンス、子ども向け講座まで、は幅広いターゲットとスタンスの関連イベントを定期的に展開します。また地域の教育普及や総合学習に役立てるための学校、団体単位の体験学習機会、視察機会を提供し、これを契機に地域の文化発展のための密接な連携事業を行います。

■ナビゲーションコンセプト

「時間」を共通キーワードにさまざまな世界を、楽しみながら順次巡っていくことができます。

今回の展示では、展覧会全体を構成する「時間」のキーコンセプトを、[タイムスケール(時間のさまざまな大きさ)] [タイムデザイン(時間のさまざまなデザイン)] [タイムズアロー(時間の矢という時間の不可逆性)] の3つのパラメーターに色分けして、分かりやすく多彩に楽しめるような工夫をしています。

来場者は、展示ゾーンごとにナンバリングされた展示作品を、順番に旅行することもできますし、色分けされたこの3つのパラメーターのテーマごとにジグザグに「時間」ワールドをワープすることもできます。あなたのセンスでさまざまな舵取りをして、いろいろな時間と体験を結び付けてみて下さい。

■展示内容概要

3つのコンセプトパラメーター別に合計 24 作品が展示されます。(*=YCAM 展の追加オリジナル展示作品)

タイムスケール(時間の大きさ)

自然や生命、宇宙、そして人工物やグローバルネットワークまで、現象のさまざまにおける時間の多様性を感じることができます。

□展示作品(10展示)

正確な時間とは？/体内時計—24 時間 DNA/動物時間/星座旅行*/無響空間/タイムレコーダー/時間エピソード/時間全史/心拍時計/マーケットアズスピードスペクトラ [MaSS] *

タイムデザイン(時間のデザイン)

人間の知覚、認識、心理などのフィルターに、さまざまな現象がどのような時間意識として映るのでしょうか。リアクション/インタラクションによって生まれてくる時間のデザインのいろいろです

□展示作品(9 展示)

生命の時間旅行へ/ディレイ電話/グローバルベアリング*/生命のリズム/聴覚による錯時間—光ったのは何回？/視覚における時間の錯覚—見えているのは現実か？/レイヤードスケープ-音の地層*/タイムワープサウンドクラッシュシステムII/アナザータイム、アナザースペース—マシュマロスコープ

タイムズアロー(時間の矢)

矢が一方向に進むように、時間の不可逆性やその展開・発展によってうまれるものを表現します。

□展示作品(5 展示)

光の旅/宇宙電波望遠鏡観測*/スローモーション/相対性理論で走ろう/ヴェクサシオン—コンポジションインプログレス*

■ 作品解説(24の中からいくつかをピックアップ)

＊宇宙電波望遠鏡観測 (=YCAM展のオリジナル展示)

山口大学が保有する電波望遠鏡での天体観測をシミュレーションする展示です。直径32mの日本で最大級の電波望遠鏡を、遠隔操作で動かし、ブラックホールやガス星雲などの強い電波を放つ天体に向けて観測します。何万光年もの遠方から、時間を飛び越えて地球に到達した電波を解析することで、その天体が立体的にビジュアライズされていきます。

(※期間中リアルタイムで観測するワークショップもおこないます。)

＊動物時間

ゾウの感じている時間は？ウマの時間把握は？ 体と大きさと心拍数が違う大小の動物のモデルに抱きつきながら、それぞれに流れている時間感覚を実際に感じてみるができます。

＊相対性理論で走ろう

高速で走れば、時間の進みは遅くなる。速度をあげるとともに遅れる時計を持って走って、相対性理論を体で納得してみましょう。今年はアインシュタイン没後50年、相対性理論発表100年、世界物理年2005にあたり関連展示もおこないます。

＊心拍時計

身体のすみずみまで響きわたっている心臓のリズム。指先から伝わる一人一人の異なる心拍をセンサーで検出すると、そのピッチが美しい光の輪の軌道となって浮かび上がります。自分自身の体内の時間感覚を、目の前の映像で見る不思議さを体験できます。

＊視覚における時間の錯覚—見えているのは現実か？

脳が処理した人間の認識と現実とは同じではありません。認知科学の分野で研究されている視覚による時間の錯覚現象。あなたの認識はどこまで信じられるでしょうか？時間感覚が正しいのか、空間的視覚が正しいのか、認識と感覚のズレの面白さを体験します。

＊コンポジションインプログレス - ヴェクサシオン (=YCAM展のオリジナル展示)

エリック・サティが1895年に作曲した謎のピアノ曲「ヴェクサシオン」は、反復音楽の元祖といわれています。1分ほどの短い音列を840回繰り返すという作品ですが、その元フレーズを、山口県萩市の熊谷美術館が所蔵するシーボルトが1828年にもたらしたという日本最古のピアノを使って録音し、さらにコンピュータの独自のプログラムを使って空間のノイズなどの影響も加えながら変調反復させていく音響インスタレーションです。時代を超えた彼方から響く音が、歴史時間の厚みを感じさせ、また繰り返す時間の連鎖が思考の差異と反復を促します。

＊グローバルベアリング (=YCAM展のオリジナル展示)

われわれの感じている地球の地平はどのようなものでしょうか。身体感覚では水平ですが、知識では球状です。この作品では、地球上のある都市の地点から、地球内部を突き抜けて向こう側に出たとき、どんな感覚や時間を体験できるかを、仮想空間上でワープしてみることができる作品です。(第8回メディア芸術祭アート部門優秀賞受賞作品)

＊マーケットアズスピードスペクトラ [MaSS] (=YCAM展のオリジナル展示)

1971年、NASDAQの誕生と同時に金兌換制が廃止され、お金はモノからデータとなりました。MaSSは、実際の株式市場のデータを用いて「ネットワーク上の時間」を表現します。一秒間に何十回と取り引きされる、想像を超えた速度の電子市場の中で、時間とは一体どんな意味を持つのでしょうか。

■サイエンティフィック・アドバイザー(山口大学時間学研究所)

＊認知科学

一川 誠/山口大学時間学研究所 工学部助教授

1965年生。専門は実験心理学。実験的手法を用いて人間の知覚認知過程や感性の特性についての研究。現在は特に視覚や聴覚に対して与えられた時空間情報の知覚認知処理の特性の検討を行っている。人間に体験される時間や空間の特性とはどのようなものであるのか、人間にとって直接的に触れることのできる時空間とはどのようなものであるのか、5～6年後にはこうした問いにより明確な答えを得たいと考えている。主な著書に『知覚の可塑性と行動適応(ブレーン出版)』(共著)がある。

＊生命科学、時間学

井上 慎一/山口大学時間学研究所前所長 理学部教授

研究室でネズミの神経細胞の活動を記録したり、タンパクや遺伝子の量をはかったりして、30年も過ごしてきた。脳の中にある生物時計の研究が自分のテーマ。生物時計が視交叉上核という名前の場所にあることが発見されたときに、自分も端の方で立ち会えたことを誇りにしている。山口大学へ移ってからは、林原フォーラム「時間と時」の企画や時間学研究所の設立に携わる。今回時間旅行展の仕事で、デザイナー、アーティストと呼ばれる人たちと仕事をして、今まで知らなかった世界のことを見て刺激を受けている。

＊時間の社会学、エイジング、高齢化

辻 正二/山口大学時間学研究所 人文学部教授

1948年生。専門は社会学。高齢化社会における地域の課題や人間関係について研究してきた。時間の研究では、高齢社会を生きる各年代層の生活行動と産業行動を中心に社会的時間の配分と調整をめぐる問題に関心を持っている。県内の行政機関や団体等で各種委員を務め、自らもやまぐち県民ネット21理事長、やまぐち水辺交流会代表世話人なども務める。著書「高齢者ラベリングの社会学」(恒星社厚生閣)など。

＊天文学、物理学

藤沢健太/山口大学時間学研究所 理学部助教授

1967年生。専門は電波天文学・電波望遠鏡・超長基線電波干渉計の研究。天文学＝宇宙の研究を通じ、広大な時間と空間を舞台にした天体の研究を行う宇宙には超強力な重力や超高速な運動により時間の進み方が地球上とは異なる天体や、原子時計以上に正確な時間を刻む天体がある。このような天体が放射する電波を受信する観測を行っている。また、観測に高精度な時計を使うため、精密時間計測に興味をもつ。

＊生命科学、細胞生物学

藤島政博/山口大学時間学研究所長 理学部教授

1950年生。約21億年前にミトコンドリアや葉緑体を生み出し、真核細胞の進化に寄与してきた細胞内共生は、現在でも繰り返して行われ、宿主細胞に新たな構造と機能を与えて細胞の進化と多様な環境への適応力獲得の原動力となっている。細胞内共生の研究は、真核細胞の起原と進化のルーツの解明に役立ってきたが、細胞内共生がどのようにして成立するかは明らかではない。私は寄生から共生への過渡期にある細胞を研究材料に使って、細胞内共生の成立条件を分子レベルで明らかにする研究を行っている。任意の組み合わせで細胞内共生を成立させる技術開発が私の夢である。

＊日本文学

森野正弘/山口大学時間学研究所 人文学部講師

1966年生。専門は中古文学。平安朝の物語文学において、時間がどのように表象されているか、また、作品の世界構造とどのように関わっているのかについて研究する。『伊勢物語』に描かれる恋愛の諸相を、男の所属する時間と女の所属する時間の位相差の問題として捉え直したり、『源氏物語』で理想的な共同体として描かれてくる光源氏の邸宅を、季節という循環的な時間と歴史という直線的な時間の相克する場として読みかえたりしている。

＊音楽学

安原雅之/山口大学時間学研究所 教育学部助教授

専門は音楽学。ロシア・アヴァンギャルド音楽をはじめとするロシア・ソヴィエトの現代音楽を、文化的・社会的コンテキストにおいて読み解くことを試みている。2002年から、アーティストの中野良寿と「ノーヴァヤ・リューストラ」というユニットを組み、現代アートの制作にも携っている。

＊哲学

脇條靖弘/山口大学時間学研究所 人文学部助教授

1961年生。専門は古代ギリシア哲学で、これまでプラトンを中心に研究してきた。1998-9年に英国ケンブリッジに滞在した時に「所属させてもらった」ダーウィン・カレッジにたまたま時間の哲学の分野で著名なH.メラー教授がいたことから刺激を受けた。2004年4月より時間学研究所基礎論グループの世話役を引き継ぐことになり、今後はアリストテレスの時間論を手始めに、時間の哲学に積極的に手を出そうと考えている。

「時間旅行」展／関連イベント

■広中平祐(前山口大学長)＋毛利衛(日本科学未来館長)／特別対談

数学界のノーベル賞といわれるフィールズ賞受賞学者である広中平祐氏(〔財〕数理科学振興会理事長)が、山口大学学長任期中に、総合学としての「時間学」を提唱し、山口大学時間学研究所が設立されました。この度、宇宙飛行士の毛利衛氏との初の対談が YCAM でついに実現します。

日時：3月27日(日) 13:30 開場 14:00 開演 16:00 終演予定

会場：スタジオ A

料金：500 円(当日先着 400 名、全席自由)

*チケットは当日 10:00 より YCAM チケット窓口にて販売。

司会：内田まほろ(日本科学未来館)、井上慎一(山口大学時間学研究所)

■オープニングシンポジウム

日時：3月19日(土) 12:30 開場 13:00 開演

会場：スタジオ C

料金：無料(先着 100 名、申込不要)

内容：レクチャー「山口大学時間学研究所の活動について」／藤島政博時間学研究所長
シンポジウム「時間とは何か?—時間学からのアプローチ」

パネリスト：

一川 誠(認知科学)

井上慎一(生物学)

脇條靖弘(哲学)

中村彰治(医学)〔以上山口大学時間学研究所〕

港 千尋(写真家、美術評論家、多摩美術大学教授)

モデレータ：阿部一直、会田大也(YCAM)

■ワークショップ

1)山口大学理学部藤沢研究室

「宇宙電波望遠鏡観測」レクチャー＋観測ワークショップ

・レクチャー

日時：3月21日(祝) 14:00～

会場：創作学習室

参加費：無料(先着 50 名、申込不要)

・観測ワークショップ

日時：4月2日(土)、5月4日(水) 各日 14:00～16:00

会場：ホワイエ展示会場

対象：小学校5年生以上

定員：10名(応募者多数の場合抽選) ※当日見学可能

参加費：無料

申込締切：4月2日分 3月26日(土)必着

5月4日分 4月27日(水)必着

申込方法：葉書、FAX、e-mailにて、希望日、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号・e-mail等連絡先をご記入の上、下記へお申し込みください。

山口情報芸術センター 「宇宙電波望遠鏡観測」ワークショップ係

〒753-0075 山口市中園町 7-7

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 e-mail: rt@ycam.jp

■今後予定されるワークショップ

- ・山口大学工学部一川研究室／ワークショップ(5月～6月)
- ・三輪真弘氏(現代作曲家)コンサート＋ワークショップ(5月)
- ・佐藤雅彦氏(慶応大学教授)ワークショップ(6月)

■時間学連続講座レクチャー(山口大学時間学研究所メンバーによるレクチャーシリーズ)

会期中4回開催予定(詳細未定)

■ギャラリーツアー

専門的視点から解説を行う「時間学ツアー」とYCAMスタッフによる「ジェネラルツアー」を予定。

■関連映画上映(コミュニティシネマ山口)

＊「10ミニッツ・オールダー/人生のメビウス」2002年92分

収録作品：アキ・カウリスマキ「結婚は10分で決める」、ヴィクトル・エリセ「ライフライン」、ヴェルナー・ヘル

ルツォーク「失われた一万年」、ジム・ジャームッシュ「女優のブレイクタイム」、ヴィム・ヴェンダ

ース「トローナからの12マイル」、スパイク・リー「ゴアVSブッシュ」、チェン・カイコー「夢幻百花」

・7人の映画監督が「結婚・誕生・進化・孤独・死・運・郷愁」という人生の意味を10分間の一場面に凝縮して描く。

上映日時：3月20日(日)13:00～、17:30～ 3月21日(祝)10:30～、15:00～ 会場：スタジオC

＊「10ミニッツ・オールダー/アイデアの森」2002年106分

収録作品：ベルナルド・ベルトルッチ「水の寓話」、マイク・フィギス「時代×4」、イジー・メンツェル「老優の一

瞬」、イシュトヴァン・サボー「10分後」、クレール・ドニ「ジャン＝リュック・ナンシーとの対話」、フ

ォルカー・シュレンドルフ「啓示されし者」、マイケル・ラドフォード「星に魅せられて」、ジャン＝リュ

ック・ゴダール「時間の闇の中で」

・これまで古今東西の哲学者たちが様々な思索をめぐらせた「時間の謎」を8人の映画監督がそれぞれのタッチで追究。

上映日時：3月20日(日)15:00～、19:30～ 3月21日(祝)12:30～、17:00～ 会場：スタジオC

料金：一般：1,000円 エニー会員／学生：800円 エニー学生／ジュニア(18歳未満)／シニア(65歳

以上)／障害者と介護の同行者1名：500円 ※各券とも当日窓口にてご購入下さい

<山口情報芸術センター(YCAM)へのアクセス>

■JR 新山口駅から

- ・ JR 山口線湯田温泉駅下車、徒歩 20 分／タクシー5 分
- ・ JR 山口線山口駅下車、徒歩 20 分／バス 10 分(中園町か済生会病院前下車)／タクシー5 分
- ・ 防長バス 25 分、中園町下車

■自動車利用

- ・ 山陽自動車道で防府東 IC から 30 分 ・ 九州・中国自動車道で小郡 IC から 15 分

<お問い合わせ>

山口情報芸術センター (広報担当:小滝)

山口県山口市中国町 7-7 〒753-0075

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216

information@ycam.jp

<http://www.ycam.jp/>